

3 石鎚～四国カルスト～仁淀川流域

(1) 概況

本エリアは、愛媛県久万高原町、高知県仁淀川町、佐川町、越知町、檮原町、日高村、津野町の7町村を対象とし、四国山地に抱えられ、急峻で、その多くが森林で占められ、農地や宅地は少なく集落単位で生活圏が構成される。

また、これら雄大な山地環境・景観は、日本最後の清流四万十川の源流域、全国的にも珍しい高位高原カルスト地形を持つ四国カルスト、樹齢数百年の木々が立ち並ぶ原生林や溪流、急峻な地形がつくる棚田など、大自然の資源をふんだんに持つ地域である。

参考データ

<地域構成市町村別人口データ>

市町村名		人口		高齢化率 (%) (※65歳以上)	2030年 人口推計
		H17年人口 (人)	H17/H12増減率 (%)		
愛媛県	久万高原町	10,946	92.1	42.7	6,511
高知県	仁淀川町	7,347	89.7	46.2	3,689
	佐川町	14,447	97.8	30.3	11,309
	越知町	6,952	93.8	38.2	4,609
	檮原町	4,625	95.2	36.0	3,183
	日高村	5,895	98.8	29.4	4,731
	津野町	6,862	94.5	35.9	4,624
計		57,074	94.6	36.7	38,656

※久万高原町（久万町、面河村、美川村、柳谷村 H16.8.1合併）

※仁淀川町（池川町、吾川村、仁淀村 H17.8.1合併）

※津野町（東津野村、葉山村 H17.2.1合併）

※2030年人口推計（国立社会保障・人口問題研究所より）

<地域構成市町村別産業構造データ（単位：人）>

市町村名		第一次産業	第二次産業	第三次産業
愛媛県	久万高原町	1,381	1,003	2,511
高知県	仁淀川町	417	1,007	1,395
	佐川町	1,115	1,624	4,168
	越知町	497	864	1,756
	檮原町	945	752	975
	日高村	281	773	1,652
	津野町	763	1,012	1,518
計		5,399	7,035	13,975

出典：平成17年国勢調査

ア 地域の活動団体・施設

活動団体・施設	概 要
久万農業公社 アグリピア	久万高原の澄んだ空気の中で、イチゴなどの収穫体験ができる農業公園。新規就農者のための研修農場や市民農園を整備している。
面河山岳博物館	石鎚山系とその周辺の自然と人文などを紹介する博物館。地元の学校と連携して環境教育にも取り組んでいる。
四国カルストネイチャーゲームの会	高知県高幡地域のエリアで四国カルスト周辺の自然豊かな場所を拠点として、子どもからお年寄りまで安心して楽しめるネイチャーゲームを提供している。
カルスト学習館	カルストの成り立ちや動植物について、様々な資料を展示紹介。愛媛県側の児童も施設をよく利用している。
佐川地質館	日本の地質学発祥地 佐川にある地質専門の博物館。児童対象、親子対象の化石教室が専門職員によって定期的に開催されている。
横倉山自然の森博物館	横倉山の自然と歴史、そして植物学者牧野富太郎博士の足跡をたどることの出来る博物館。地元の学校と連携して環境教育にも取り組んでいる。
日高村グランドワーク協議会	住民・企業・行政で組織し、日下川調整池ビオトープパーク構想に基づき、調整池周辺で遊歩道の整備や、観察路整備(メダカ池、水路整備)、植樹作業に取り組んでいる。

イ その他

項 目	概 要
山岳・渓谷観光	石鎚山、面河溪、四国カルストなどは、春の新緑、夏の涼や秋の紅葉が有名。石鎚山は登山なども盛んで、石鎚登山ロープウェイの利用者は年間約7万人。
森林セラピー基地	禰原町、津野町では、癒しを目的とした山の散策路が整備されている。
禰原町脱藩の道	龍馬脱藩の道や町内の文化財などを地元ガイドが案内している。
農林漁家民宿おかみさん百選	農山漁村で優良な民宿を経営し、地域活性化に貢献する女性として、禰原町内の女性が選ばれた。

(2) GGN自己評価

GGNの基準に従って、自己採点を行った結果、総合評価では46%の得点率となった。下表に得点率の概要について示す。個別の評価としては、地質遺産の保存、自然文化遺産など、地域資源に関してはポテンシャルが高いという結果が出ている。また、高知県側では、すでに組織が立ち上がっており、勉強会など具体的な取り組みが始まっている。

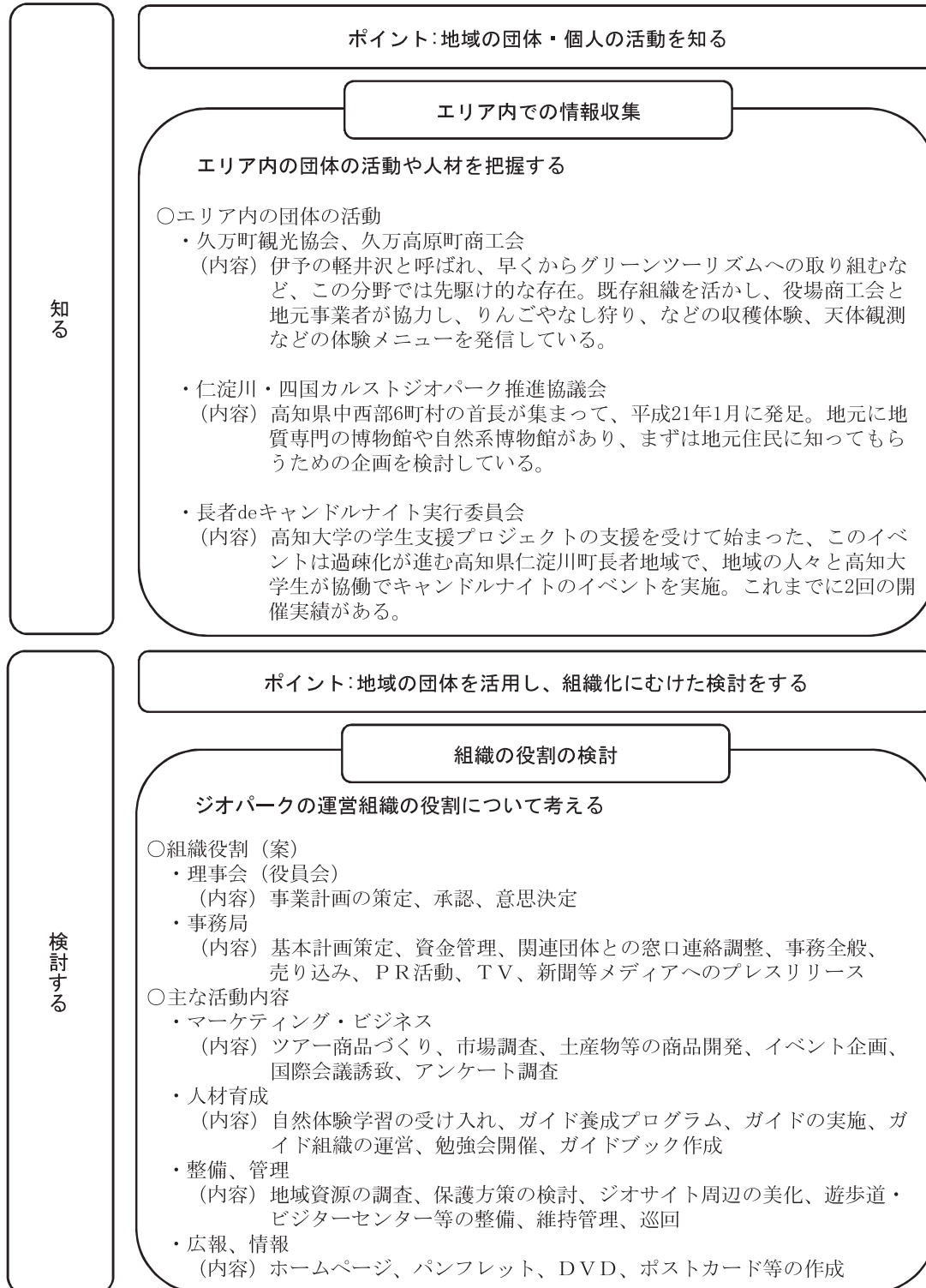
項 目	総合得点率	項目別得点率
地域	4%／ 5%	89%／100%
地質遺産の保存	12%／ 20%	62%／100%
自然文化遺産	7%／ 10%	72%／100%
運営組織	7%／ 25%	29%／100%
情報や環境教育	5%／ 15%	32%／100%
ツアー	9%／ 15%	59%／100%
地域経済の将来性	2%／ 10%	24%／100%
合 計	46%／100%	

※総合得点率：すべての項目の合計を100%とした場合の得点率

※項目別得点率：各項目を100%とした場合の得点率

(3) 組織運営計画

ア 今後の取り組み



コンセプトの創出

地域の特徴を活かしたジオパークのコンセプトを検討する

○地域イメージ

「日本の原風景を今に残す里山の自然と暮らしをめぐる地域」

・コンセプト

久万高原町は石鎚山、面河溪谷といった自然景観に加え、農村景観を活かしたまちづくりを進めている。また、本地域には四万十源流、仁淀川流域が含まれ、棚田や焼畑をはじめとする農山村生活文化、神楽などの伝統文化が残る地である。

・キーワード

(地質)

- はるか1500万年前の火山であった石鎚山生成の歴史
- 面河溪谷の景観美
- 四国の地形生成の歴史がわかる仁淀川（V字峡形成）
- 4億年前のクサリサンゴの化石が見られる佐川
- 鳥形山の石灰石鉱山（日本一の規模）

(生態系)

- 西日本最高峰を誇る石鎚山で見られる高山植生とそこに生息する昆虫や動物たち
- 蛇紋岩地形に見られる特有の植生（ドウダンツツジ、トサミズキなど）

(文化・歴史)

- 山岳信仰のメッカである石鎚山
- 岩屋寺など（四国八十八箇所）
- 無形文化財として多くの神楽や伝統芸能、焼畑文化
- 維新の志士の道、龍馬脱藩の道
- 清流仁淀川めぐみの製紙産業と土佐和紙工芸



岩屋寺



長者



佐川地質館

連携の模索

エリア内の団体・他地域との連携について検討する

○実施項目

- ・情報収集、情報共有
- ・連携した場合の相乗効果について検討

○情報収集、情報共有の方法

- ジオパークに取り組んでいる（関心のある）団体や活動について情報収集する
四国広域連絡協議会や高知県ジオパーク連絡協議会などに参加する。
- 連携が想定される団体の詳細情報を収集する
地域資源、ガイド団体、観光関連団体などについて調べる。
- 定期的なニュースレターによる情報共有
マレーシア（ランカウィ）では、構成員の知識ギャップを埋めるために定期的にニュースレターが発行された。

検討する

運営費の検討

ジオパークの運営に必要な費用について検討する

○支出

- ・人件費（事務局長、スタッフ） 約500万円～
- ・諸経費 約150万円～
 - － 勉強会開催
 - － 人材育成、ガイド養成、モニターツアー開催
 - － パンフレット、チラシ、DVD、ホームページ作成
 - － 看板、遊歩道、ビジターセンター整備・維持管理
 - － 組織・施設運営
 - － 事務費 など
- ・申請にかかる費用
 - － J G N 審査にかかる費用（審査員の旅費・滞在費のみで審査料必要無し） 約20万円～
 - － G G N 審査にかかる費用（審査員の旅費・滞在費のみで審査料必要無し） 約40万円～
 - － G G N 申請一式（現地調査、申請書作成、英訳などを委託した場合） 約200万円～

○収入

- ・ガイド収入 ガイド料
- ・会費、寄付 団体、企業、個人からの運営補助
- ・補助金・助成金 自治体や企業からの運営補助
- ・施設入場料 ジオパーク関連施設の入場料
- ・ガイドブック ジオパーク関連ガイドブックの販売
- ・商品販売 土産品の販売など

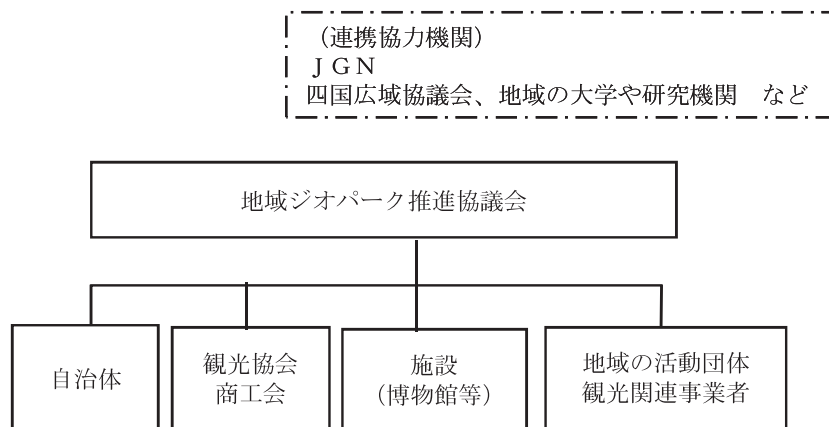
組織化

ポイント：ジオパークを運営する組織を立ち上げる

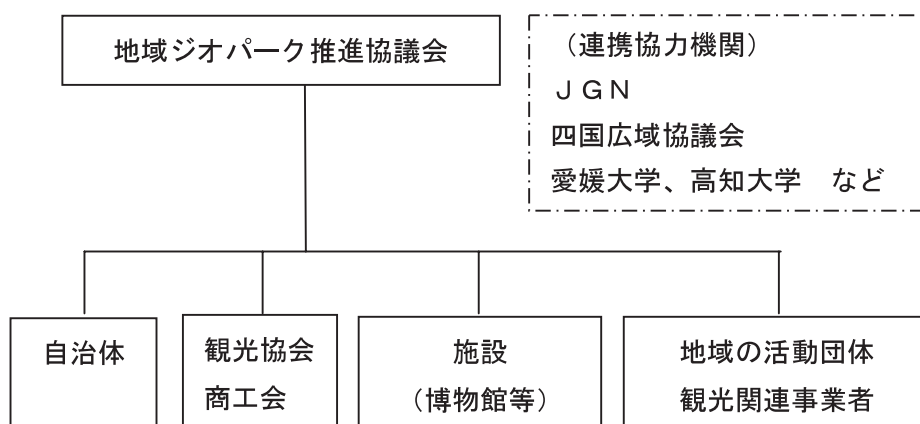
運営組織の立ち上げ

地域の各種団体が参画してジオパークの運営組織を立ち上げる

○運営組織イメージ図



イ 運営組織案

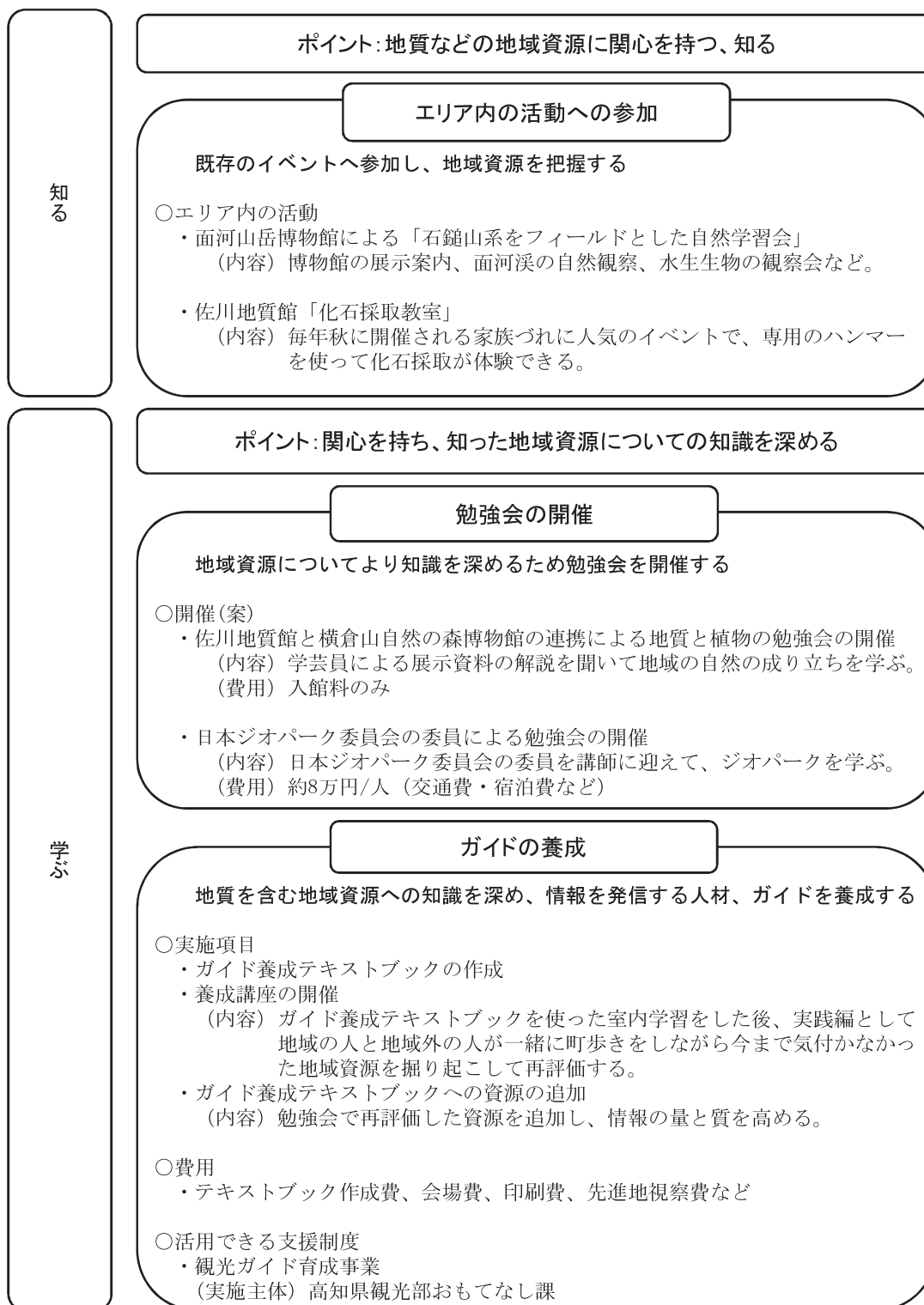


(参考)

エリア内の主な団体	
自治体	久万高原町、仁淀川町、佐川町、越知町、禰原町、日高村、津野町
観光協会・商工会	各観光協会、各商工会
施設（博物館等）	面河山岳博物館、カルスト学習館、佐川地質館、横倉山自然の森博物館、天狗荘
地域の活動団体	久万農業公社アグリピア、四国カルストネイチャーゲームの会 NPO法人佐川くろがねの会、維新の道ガイド、越知平家会 龍馬を愛する会、日高村グランドワーク協議会
観光関連事業者	地元観光バス・タクシー会社

(4) 人材育成・ジオツーリズム計画

ア 今後の取り組み



学ぶ

既存のガイドグループとの連携・協力体制の確立

既存のガイドグループと連携協力して、勉強会、ガイド養成、モニターツアーの開催、既存イベントでの実践などを行う

- エリア内のガイドグループ
 - ・維新の道ガイド（禰原町）
 - ・NPO法人佐川くろがねの会（佐川町）
 - ・越知平家会（越知町）
 - ・竜馬を愛する会（津野町）

活かす

ポイント: 地域資源のよさ、特徴を伝える

モニターツアーの開催

既存のイベントなどを利用してモニターツアーを実施し、養成した人材を活用する

- 実施項目
 - ・ターゲットの絞り込み
 - ・ルートづくり
 - ・モニターの募集
 - ・ヒアリングやアンケートの実施
- モニターツアー開催（案）
 - ・久万高原マラソン（久万高原町）
 - （内容）毎年10月、標高約800mの高原を走る人気のマラソン大会で約600人参加、走者の家族などを対象に久万高原を散策しながら地形の成り立ちや高山植物などを紹介する。
 - ・NPO法人佐川くろがねの会の町並み観光（佐川町）
 - （内容）養成されたガイドは、NPOくろがねの会のガイドとペア1組で佐川町の地質を含む自然と文化の関係性を解説する。
- 費用
 - ・モニターの交通費、宿泊費、飲食費など
- 活用できる支援制度
 - ・ニューツーリズム創出・流通促進事業
 - （実施主体）国土交通省四国運輸局企画観光部観光地域振興課
- 参考情報
 - ・久万高原ふるさと旅行村
 - （内容）古い山村の風景や生活に触れたり、静かな自然の中での宿泊ができる。村内には貸別荘や研修合宿施設、手作り館、キャンプ場、プラネタリウムや天文台などがあり、豆腐や炭、りんご狩りなどが様々な体験ができる。
 - http://ed58.ed.ehime-u.ac.jp/~gsj_shikoku/

ポイント:ガイド体制を整え、ジオツーリズムを売り込む

ガイドの組織化

認定や組織のルールをつくり、安定的にサービスを提供できる体制をつくる

- 実施項目
 - ・認定や登録のルールづくり
 - ・受付窓口の整備
 - ・ツアー料金の設定
- 費用
 - ・認定や登録のルールづくりに係る費用

商品化

地域内の資源を使ったツアーを企画して旅行会社などに売り込む

- 実施項目
 - ・ターゲットの絞り込み
 - ・ルート決定、受け入れホテルとの交渉
 - ・料金の決定
 - ・パンフレット作成
 - ・受付窓口の整備
 - ・営業活動

参考事例・情報

○ガイド養成

- ・マイントピアを楽しく育てる会（愛媛県新居浜市）

（内容）平成11年に、第3セクター施設である「マイントピア別子」の活性化を支援する目的で、ボランティア部会が立ち上がった。当初は、毎月1回、マイントピア別子内の学習体験施設（観光坑道や鉱山鉄道など）をフィールドに別子銅山の歴史などを学ぶ学習会（ロコミなどで参加者を募集）が開催された。現在、部会登録しているボランティアガイドは約25名、実際活動をしているのは約10名である。ガイドは、メンバーが交代で毎週日曜日・祝日の10時から15時の間、希望者を対象にガイドを実施している。また、新加入希望者がいたら、勉強会を開催する。ガイド術はテキストブックをもとに個人が各々の得意・特徴を活かしたガイドを展開する。行政の補助はうけておらず、ガイド料も無料である。

- ・山陰ジオパークのボランティアガイド養成講座の開催

（内容）平成21年3月1日に実施された養成講座には約40名が参加した。講座内容は、午前と午後の2部構成で、午後のシンポジウムは元大学教授による基調講演「地質時間尺と玄武洞・山陰海岸」と有識者によるパネルディスカッションが行われた。参加費無料



参考事例・情報

○活用できる支援制度

- (事業名) ニューツーリズム創出・流通促進事業
 (概要) 実証事業の実施により新たな形態の旅行商品に対する旅行者ニーズに関する情報や成功事例を蓄積し、マニュアル・事例集を作成するとともに、普及活動を行うことによる「ニューツーリズム」市場の育成を図る。
 (対象経費) 旅行商品造成のための意見交換・調整等の事務経費、ガイド等の研修経費、リーフレット作成・セミナーの開催等の広報経費、ガイドマップの作成、現地での二次交通の試験運行等の経費等
 (対象団体) 地域の観光関係者（旅行業者を含むものとする）
 (補助率) 定額（約100万円程度を上限とする）
 (連絡先) 国土交通省四国運輸局企画観光部観光地域振興課
<http://www.skt.mlit.go.jp/bunya/kankou/soudan.html>
- (事業名) 観光ガイド育成事業
 (概要) 高知県を訪れる観光客のために高知の持つ観光素材を気持ちよく楽しんでいただくためのガイドを養成する。
 (対象経費) 講師料
 (対象団体) 高知県が直接実施
 (連絡先) 高知県観光部おもてなし課
<http://www.pref.kochi.jp/~omotenashi/>
- (事業名) 広域連携共生・対流等対策交付金
 (概要) 都市と農村の共生・交流などの広域連携事業や都市農村振興を支援する。
 (対象経費) 企画を実現するために直接必要となる経費（詳細は公募要領参照）
 (対象団体) 民間団体（公募）
 (補助率) ①都市と農村の広域連携プロジェクト等の支援（ソフト）定額
 ②共生・対流の一層の推進と都市農業振興のための条件整備（ハード）定額（1/2以内）
 (連絡先) 農林水産省農村振興局企画部農村政策課
<http://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/kouhukin/index.html>

○地元大学との連携

・愛媛大学

- (内容) 愛媛大学では、地域社会の方々に向けたさまざまな活動や、自治体、民間企業との共同研究を積極的に行っている。愛媛大学地域創成研究センターでも、地方自治体と取り組み多数有り。センターに相談すれば、適切な研究会、組織をピックアップし、仲介してくれる。
<http://www.rci.ehime-u.ac.jp/community.htm>

・高知大学

- (内容) 国際・地域連携センター生涯学習部門では、高知県の市町村教育委員会と提携し、出前公開講座などの講座を開講しており、内容に応じて教授などとの調整を行ってくれる。
<http://www.kochi-u.ac.jp/~wwwlife/>

イ 本エリアにおけるジオツーリズム例

博士が愛した億年のジオツアー

ジオツーリズム モデルコース

自然に魅了された人々

安徳天皇潜幸伝説が残る横倉山は、約4億年前に赤道付近にあった陸地が、長い年月をかけて現在の場所まで移動し、断層によってさまざまな地質が入り交じった場所として、ドイツのエドムント・ナウマン博士が世界に紹介。また、佐川町出身で世界的な植物学者である牧野富太郎博士も、この地で数多くの植物採集を行った。この横倉山から北西に目を向けると、日本三大カルスト地形の一つ、四国カルストが広がり、むき出しの石灰岩が林立する独特の景観を見せている。



1 日目	JR佐川駅	車で5分	①佐川地質館	車で5分	②佐川ナウマンカルスト
		車で5分	③酒蔵の白壁	徒歩5分	④牧野公園
2 日目	家跡	R33 車で20分	⑥横倉山自然の森博物館	R33・439・197 車で40分	⑦雲の上のホテル(泊)
2 日目	⑦雲の上のホテル	車で30分	⑧森林セラピー基地	徒歩50分	⑨天狗荘
		徒歩2分	⑩カルスト学習館	車で10分	⑪四国カルスト
	美術館	R33 車で40分	JR松山駅	R440・33 車で40分	⑫久万



①佐川地質館



③酒蔵の白壁



⑩カルスト学習館



⑦横倉山自然の森博物館



④牧野公園



⑧森林セラピー基地

⑪四国カルスト

①佐川地質館

パネルによるプレートテクトニクスなどの解説があり、地質について分かりやすく紹介。また、県内外、国外の珍しい化石も展示。

②佐川ナウマンカルスト

佐川町の南にひろがるカルスト台地を、ナウマン博士にちなんで命名。

③酒蔵の白壁

佐川の地は海拔100m程の盆地で、清流仁淀川の良質な水に恵まれ酒造りの最適地。その酒蔵の白壁が町の一角を彩っている。

④牧野公園

佐川町出身の世界的植物学者・牧野富太郎博士に由来する。古城山の高台の斜面にある公園で、桜の名所としても知られている。

⑤牧野富太郎生家跡

酒造会社「司牡丹」の前身は、何軒かの造り酒屋。その一つが牧野博士の生家。建物は残っていないが公園が整備されている。

⑥横倉山自然の森博物館

横倉山の生い立ち、横倉山の植物、牧野富太郎博士の植物のスケッチなどを展示。建築家、安藤忠雄氏設計の建物としても有名。

⑦雲の上のホテル

道の駅太郎川公園の一角にあり、まるで、今にも空に飛び立ちそうな複葉機の形をしたホテル。温泉やプールの施設も隣接している。

⑧森林セラピー基地

旧久万町出身の実業家のコレクションを中心に収蔵展示。美術館としては珍しい木造建築は、優しい気持ちで美術鑑賞できる。

⑨天狗荘

レストランや宿泊施設が整い、四国カルスト観光の拠点に便利。目の前に広がる天狗高原は、冬期には高知県唯一のスキー場になる。

⑩カルスト学習館

四国カルストの成り立ちや、棲息する動植物を分かりやすく紹介。よく晴れた日には、ここから足摺岬と室戸岬が一望できる。

⑪四国カルスト

石灰岩に覆われた高原。むき出しになった石灰岩のカレンフェルドや、窪みになったドリーネなど独特の地形を見ることができる。

⑫久万美術館

旧久万町出身の実業家のコレクションを中心に収蔵展示。美術館としては珍しい木造建築は、優しい気持ちで美術鑑賞できる。